

令和7年度 感染症危機管理リーダーシップ研修（短期） 研修スケジュール案

厚生労働省委託事業 感染症危機管理リーダーシップ人材育成事業

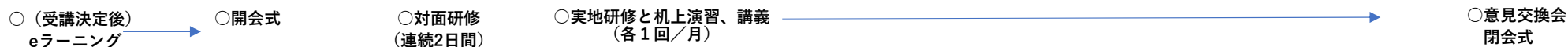
研修目的：感染症危機管理の関連機関の業務や役割・機能を理解し、感染症危機時のリーダーシップの基礎に関して知見を深める。
研修方法：3か月間のうち、毎月連続した2-3日間、計7～10日間程度、eラーニング、対面研修、実地研修、机上演習、外部講義等を受講する。

方法	目的・内容	提供方法	研修場所
eラーニング	<ul style="list-style-type: none"> ■ 地域の感染症危機においてリーダーシップを発揮する人材に必要な知識を学び、コンピテンシーの基礎を築く。 ・ eラーニング教材の受講 ■ 感染症危機において関連機関が果たす役割を理解する。また、関係機関との調整・連携に必要な知識を理解する。 ・ 厚生労働省や内閣感染症危機管理統括庁の業務・役割・機能に関する講義の動画の視聴 	オンライン	—
対面研修	<ul style="list-style-type: none"> ■ eラーニングで学習した内容を実践することで、知識の深い理解・定着を促す。 ・ 講義、ディスカッション、フィードバック等で構成されたプログラムの受講 	対面	国立健康危機管理研究機構 (または都内貸し会議室)
実地研修	<ul style="list-style-type: none"> ■ 感染症危機において関連機関が果たす役割を理解する。 ・ 関連機関の見学と業務・役割・機能に関する講義の受講 	対面	厚生労働省（検疫所） 国立健康危機管理研究機構 (または都内貸し会議室)
机上演習	<ul style="list-style-type: none"> ■ eラーニングと対面研修の学習を踏まえ、感染症危機時に実際にどのように実務に活かされるか学ぶ。 ・ 感染症危機時を想定したシナリオを使用し、地域における意思決定や判断などに関する演習の受講 	対面	国立健康危機管理研究機構 (または都内貸し会議室)
外部講義	<ul style="list-style-type: none"> ■ 感染症危機において関連機関が果たす役割を理解する。また、関係機関との調整・連携に必要な知識を理解する。 ・ 外部講師による感染症危機の事例やリーダーシップに関する講義と講義を踏まえたグループディスカッション（過去の研修における講義動画の視聴を含む） 	対面/オンライン	国立健康危機管理研究機構 (または都内貸し会議室)
意見交換会	<ul style="list-style-type: none"> ■ 研修生間でそれぞれの経験を共有し、学びを深める。 ・ グループディスカッション、各研修についての評価表等を提出 	対面	国立健康危機管理研究機構 (または都内貸し会議室)

11月(連続3日程度)

12月(連続2日程度)

1月(連続2日程度)



※上記の研修スケジュール(案)のほか、他の機関等が提供している研修との連携を予定しております。
 ※研修内容については諸般の事情により、都度、内容変更が生じる可能性があります。